

# 令和7年度病害虫発生予察指導情報

ナシ黒星病：孢子飛散情報 (No. 15)

令和7年6月6日  
鳥取県病害虫防除所

表1 日別孢子採集状況 (調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個

月・日	子嚢孢子 (落葉由来) (個)	分生子 (花叢由来) (個)	‘新甘泉’の 生育(作業) ステージ	月・日	子嚢孢子 (落葉由来) (個)	分生子 (花叢由来) (個)	‘新甘泉’の 生育(作業) ステージ
3/16	0	1.1		4/26		-	
3/17	0	1.5		4/27	0	-	
3/18	0	0.7		4/28		-	
3/19		-		4/29	8	5.8	
3/20	0	-		4/30	0	-	摘果期
3/21		-		5/1	5	9.2	
3/22	0	-		5/2	2	-	
3/23		-		5/3		-	
3/24	0	0.3	発芽期	5/4	4	-	
3/25	0	-		5/5		8.8	
3/26	0	-	花蕾露出期	5/6	2	21.8	
3/27	0	0		5/7	0	-	
3/28		-	鱗片脱落期	5/8	0	-	
3/29	0	1.6		5/9		6.4	
3/30		-		5/10	1	-	
3/31	0	-		5/11	0	0	
4/1	0	-		5/12	0	-	
4/2	0	-		5/13		-	
4/3	1	0		5/14	0	-	
4/4		-		5/15	0	-	
4/5	0	0		5/16		128.9	
4/6	1	-	展葉期～パルレーン期	5/17	3	-	
4/7	0	-		5/18		-	
4/8	0	-	開花始め	5/19	0	-	
4/9	0	-		5/20	0	-	
4/10	11	0.6		5/21	1	-	
4/11	17	-	満開	5/22		-	
4/12		-		5/23		6675.8	
4/13	106	0		5/24	0	-	
4/14	2	0		5/25		-	
4/15	1	0.3		5/26	0	-	
4/16		-		5/27	0	-	
4/17	0	-		5/28	0	-	
4/18		-		5/29	0	130.0	
4/19	57	-	落花期	5/30	0	-	
4/20		1.3		5/31	0	-	
4/21	1	-					
4/22	3	18.0					
4/23	328	0.9					
4/24	2	-					
4/25	0	-					

注) -は無降水のため調査未実施、生育(作業)ステージは遠視による調査。

表2 半旬別孢子採集状況 (調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個

月・旬	子嚢孢子			分生子			月・旬	子嚢孢子			分生子		
	本年	前年	平年 (H28~R6)	本年	前年	平年 (H27~R6)		本年	前年	平年 (H28~R6)	本年	前年	平年 (H27~R6)
3・4	0	0	0	3.3	0	0.1	4・6	8	1	9.4	5.8	36.0	23.1
3・5	0	2	4.2	0.3	6.4	2.2	5・1	11	0	0.9	18.0	1.8	14.4
3・6	0	6	15.6	1.6	2.9	4.8	5・2	3	1	0.4	28.2	0	20.4
4・1	1	100	26.9	0	13.1	10.8	5・3	0	0	0.1	0	6.1	11.9
4・2	12	66	12.1	0.6	8.8	11.6	5・4	3	0	0	128.9	0	21.3
4・3	126	4	44.9	0.3	0.5	9.5	5・5	1	0	0	6675.8	-	6.8
4・4	57	4	4.7	1.3	3.6	6.3	5・6	0	0	0	130.0	1.6	22.1
4・5	334	4	43.2	18.9	54.9	47.5							

注) 平年値は調査期間のうち、9年以上の値から算出。

＜情報の内容＞ 5月第6半旬調査結果

- ・病落葉からの子嚢孢子の飛散は、認められなかった。
- ・花叢基部からの分生子の飛散量は、平年に比べて多かった。

＜参考＞

- ・発生量の記載  
発生量の多少は中央値 (median) の考え方を基に決定しており、発生の実態に即している。そのため、本年値と平年値の関係が発生量の記載と一致しない場合がある。
- ・子のう孢子採集方法  
病落葉 (前年採集) の上に設置した孢子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドグラスを静置 (24~72時間) し、スライドグラスに付着した孢子数を調査した。表の値は罹病落葉100葉あたりの子嚢孢子数。
- ・分生子採集方法  
雨滴法 (漏斗を罹病した腋花芽の下に設置) により雨滴中の孢子数を降雨日ごとに調査した。表の値は4花叢調査の平均値。